

## 環境審議会総合政策部会の審議状況

### <第1回総合政策部会（平成24年12月18日）>

#### 【説明事項】

- 環境基本計画の改定の背景
- 第3次愛知県環境基本計画の取組状況
- 県政世論調査・モニターアンケート及び有識者ヒアリングの状況

### <第2回総合政策部会（平成25年3月21日）>

#### 【説明事項】

- 本県の社会経済及び環境の状況
- 本県の各種計画に示される将来の目標等
- 2030年の愛知のあるべき姿  
（「環境首都あいち」とは、2030年愛知のあるべき姿（マトリックス）、第4次愛知県環境基本計画の基本的な方向性）

### <第3回総合政策部会（平成25年7月29日）>

#### 【説明事項】

- 第4次基本計画の骨子（案）
  - ・ 計画の位置付け
  - ・ 「あいちの環境」を取り巻く現状（社会経済の状況、環境の状況）
  - ・ 2030年の「あいちの環境」のあるべき姿
  - ・ 「環境首都あいち」に向けた2020年までの環境施策の方向

### <第4回総合政策部会（平成25年10月29日）>

#### 【説明事項】

- 第4次基本計画の骨子（案）及び計画の構成
  - ・ 目指すべき姿（計画の目標）
  - ・ 施策展開の方向性

### 【第4回部会における委員からの主な意見】

#### ○ 総論等について

- ・ 策定する計画の最終形のイメージ（今後追加する項目、内容）についての確認。
- ・ 計画の数値目標について、考え方等を示すべき。
- ・ 県の施策・取組について、現在の状況（ここまで取組が進んでいる、出来ているとの状況）を計画の前半に記述してはどうか。

#### ○ 計画の目標について

- ・ 2005年の愛・地球博、2010年のCOP10、2014年のESDについて、国際的イベントの開催が分かる記述だけでなく、この結果得られた（得られる）成果を環境の視点からきちんと記述すべき。

#### ○ 2020年までの環境施策の方向

- ・ 環境に対する意識が高くてもそれが環境に配慮した行動に結びついていかない状況を変えていく社会システムが必要であり、施策の方向として検討していくべき。
- ・ 県民が行動するためにどのような施策を打っていくか示していくべき。
- ・ 人づくり、教育の視点が重要であり、計画にきちんと盛り込むべき。
- ・ 施策方向の1つとしている「環境問題への正しい理解」について、表現を再考すべき。
- ・ 資源循環の取組分野では、循環した資源を利活用していく施策の方向が必要。
- ・ 国際イベントのような大きい取組だけでなく、県民の心を喚起するような施策を進めるべき。例えば、森と緑づくり税による環境活動の支援など地道な取組・施策の継続が必要。